

とやまDXパートナー登録情報

事業者名 株式会社エフエムとなみ

代表者	代表取締役 河合常晴	問合せ先	企画営業課 宮脇 将吉
所在地	富山県砺波市太郎丸2丁目129番地	電話番号	0763340769
会社設立日	平成12年12月20日	Webサイト (問合せフォーム)	https://www.fmtonami.jp/
従業員数(人)	5		

営業エリア

☒ 県内全域

☐ その他

富山市

砺波市

立山町

高岡市

小矢部市

入善町

魚津市

南砺市

朝日町

氷見市

射水市

滑川市

舟橋村

黒部市

上市町

得意業種(上位5項目)

☒ 製造業

☐ 卸売・小売業

☐ 建設業

☐ 医療、福祉

運輸業、郵便業

金融業、保険業

☐ 宿泊業、飲食サービス業

不動産業、物品賃貸業

教育、学習支援業

その他サービス業

☐ その他

支援可能分野

別紙のとおり

使用可能ツール・システム

- ・ソフトウェア
- Google Workspace
- Google Apps Script
- Google Meet
- Google Workspace
- Google Analytics
- Microsoft Teams
- Stripe(オンライン決済サービス)
- メルカリShops
- LINE
- Dify(AI開発プラットフォーム)
- yodeck(デジタルサイネージソフト)
- MagicInfoPro(デジタルサイネージソフト)
- Sign!(iPad用サイネージソフト)
- Notion
- freee
- Slack
- Zoom
- GitHub
- Autodesk Fusion(CADソフト)
- Onshape(クラウドCAD)
- Canva
- X
- Obsidian

- ・ハードウェア
- 回路設計(低・中規模)
- IoT機器開発(プロトタイプ)
- Raspberry Pi
- Arduino
- ESP32系(低消費電力)
- M5Stack

支援実績

事例1

「LINEを活用した地域運営DXモデル」

分野

- ・ペーパーレス化の推進支援
- ・オンライン会議システムの導入・活用支援
- ・コミュニケーションツールの導入支援

内容

地域イベント・NPO・実行委員会運営における、情報共有・会議・意思決定をデジタルで再設計し、参加負担を減らし、継続可能な運営体制を構築する。

導入前の課題

- ・参加者が固定化、特に一部の熱心なメンバーに負担が集中、高齢化・後継者不足が進むなど、人材・担い手不足（属人化）。決定へのプロセスが見難くなり、役割分担や育成の仕組みが弱い。

特徴

- ・小規模から開始可能
- ・失敗時の撤退コストなし
- ・現場主導で改善可能

効果

- ・会議参加率の向上
- ・意思決定の迅速化
- ・属人化の抑制
- ・費用ゼロでのDX実践

応用・展開の可能性

- ・本取組は、既存ツールを活用し運営プロセスを変革する
- ・地域向けスモールDXモデルであり、横展開が可能である。

担当範囲

- ・導入支援・レクチャー・講習会

Step1:連絡の一元化

Step2:協議のオンライン化

Step3:運営ルールの共有

事例2

「デジタルサイネージを活用した業務管理」

分野

- ・ペーパーレス化の推進支援
- ・コミュニケーションツール
- ・生成AIの業務活用環境の導入支援

導入前の課題

・現場環境では、人の出入りが多く、的確な配置、作業状況、経過について作業中確認できず、作業効率など後手に回ることが多く、職員の意識、不満などストレスのたまるものがある。

特徴

- ・オフィス・職場環境の改善(オフィスDX)

情報共有の促進: 社内掲示板や会議室の利用状況、社員の行動予定などを表示することで、社内の情報共有を円滑化

効果

- ・働き方改革の支援:

オフィス内のサイネージを活用することで、多様な働き方(テレワークなど)に対応した柔軟な情報発信が可能、課題発見と改作などが社員一人一人が考えるようになった。

応用・展開の可能性

- ・他業種・工場・作業所での展開が可能

担当範囲

- ・詳細な内容を聞き取りから商品導入まで

事例3 「環境データ遠隔監視用のIoT機器開発」

分野

- ・IoTデバイス活用支援
- ・プロトタイプ開発

内容

人力で行われていた環境確認作業の効率化を目的に、現場ヒアリングを基にセンサー選定、筐体設計、通信方式、スマートフォン表示まで一貫設計。必要機能に絞り低価格化を図り、視認性や利用者属性に配慮しながら試作・改良を実施。複数環境で実証中で、農業利用を想定しつつ他分野にも展開可能な汎用構成とした。

導入前の課題

- ・毎日の見回り負担
- ・遠隔地で状況把握不可
- ・人手不足

特徴

SIM不要のLoRaを採用し長距離通信を実現。環境センシング＋通信の簡素構成、外れ値除去による精度確保、シンプル表示設計、3Dプリンタ筐体などを特徴とし、ハード／ソフトを一貫開発。

効果

- ・現地確認回数の減少
- ・状況把握が容易化
- ・遠隔監視による安心感
- ・データ蓄積による翌年以降の判断支援

応用・展開の可能性

要望に応じた試作・検証プロセスのため分野を問わず適用可能。農業以外にも設備監視・屋外観測・小規模PoCなど「まず試す」段階のIoTに向く。低コストのため本格導入前の検証にも活用可能。

担当範囲

- ・企画／設計／ハード開発／ソフト開発

事例4

「特定業界でのDXシンポジウムの開催」

分野

- ・DX文化醸成・組織変革支援

内容

2021年夏に某公益社団法人より、依頼を受け「DX地域の未来像」をシンポジウムを開催。複数の専門家や関係者がそれぞれの立場から意見・研究成果を発表し、地域課題、DX化について質問など開催。

導入前の課題

- ・DXについて、実際どのようなものなのか、分からない状況で、言葉だけが独り歩いている。

特徴

- ・2021年はDXという概念が社会に浸透し始めた黎明期であり、コロナ禍を背景にデジタル活用の必要性が急速に高まった時代であった。その時期にDXをテーマとしたシンポジウムを開催したことは、単なる技術導入ではなく、地域や組織のあり方そのものを問い直す先駆的な取り組みであった。

効果

2021年にDXを議論したことは、その後の社会においてDXを一過性の流行ではなく、組織や地域のあり方を変える継続的な取り組みとして定着させる土台をつくり、連携・人材育成・意識改革といった波及効果をもたらした。

応用・展開の可能性

- ・アジャイル型・伴走型DXへの転換期となった。

価格体系の公開状況



基本的な料金を公開している

【別紙】支援可能分野(複数選択)

①業務のデジタル化に向けた環境整備

- ☐ ペーパーレス化の推進支援(紙書類の電子化・ワークフロー化・文書共有システム導入支援等)
- ☐ オンライン会議システムの導入・活用支援
- ☐ コミュニケーションツール(チャット・共有・タスク管理等)の導入支援
- ☐ 生成AIの業務活用環境の導入支援(プロンプト設計、社内利用ルール整備、活用トレーニング)
- ☐ クラウドサービス利用環境の構築(メール、ストレージ等の基本的SaaS設定・移行)
- ☐ 勤怠・人事評価などバックオフィスのクラウド化支援
- ☐ オンライン研修・eラーニング環境の導入支援
- ☐ 社内情報共有ポータル構築支援(規程・マニュアルの電子化／ナレッジ共有基盤構築)

②業務プロセスのデジタル化・自動化

- ☐ 電子契約システム導入支援
- ☐ オンライン決済システム導入支援
- ☐ RPA導入支援(業務分析、ロボット作成・定着支援)
- ☐ SFA／CRM導入支援(顧客情報管理、営業支援システムの導入・活用)
- ☐ Webサイト・ECサイトの構築・改善支援
- ☐ データ分析基盤の構築支援(販売・顧客・業務データの可視化、簡易BI導入 等)
- ☐ IoTデバイス導入の初期支援(設備データの可視化、センサー導入、モニタリング)
- ☐ AIチャットボット導入支援

③デジタル技術を活用した業務最適化

- ☐ デジタルマーケティング戦略支援(SNS・SEO・広告・MA活用 等)
- ☐ 予知保全システム導入支援(設備データ分析等)
- ☐ 物流・在庫の最適化支援(IoT・AIを活用した在庫管理・配送最適化)
- ☐ スマートファクトリー化支援(設備連携、品質データの自動収集、工程データの最適化)
- ☐ パーソナライズ顧客体験の提供支援(レコメンド、顧客行動分析 等)
- ☐ デジタルツイン構築支援
- ☐ VR／ARを活用したシミュレーション・トレーニング支援
- ☐ データドリブン経営の導入支援(KPI設計・経営ダッシュボード作成)
- ☐ AI／機械学習の導入支援(モデル作成、画像認識、不良検知、需要予測 等)
- ☐ サイバーセキュリティ高度化支援(ゼロトラスト導入、継続的な脆弱性診断 等)

④デジタル技術を活用したビジネス変革・価値創造支援

- ☐ ビッグデータ分析・可視化支援
- ☐ 経営レベルでの生成AI活用支援(戦略策定、仮説設計、マネジメント活用)
- ☐ ブロックチェーン活用支援
- ☐ CO2可視化・削減システム導入支援
- ☐ 企業間データ連携・エコシステム構築支援
- ☐ 新たなデジタルビジネスモデル創出支援(サブスク、プラットフォーム、デジタルサービス)
- ☐ DX文化醸成・組織変革支援(意識改革、アジャイル体制整備、DX推進体制構築)

エフエムとなみ 会社概要

株式会社エフエムとなみは、コミュニティFMラジオ放送局として2001年4月25日に開局し、周波数76.9MHz・出力20Wで、砺波市全域および南砺市、小矢部市、高岡市の一部へ向けた情報発信を行っています。

全国各地で多発する地震や風水害などの自然災害時に地域住民にきめ細やかな情報を提供するための地域コミュニティにおける情報インフラの重要性が高まる中、当社も2016年10月に砺波市と「災害緊急放送」「臨時災害放送局」に関する協定を締結し、平時はもとより、緊急時においても迅速かつ正確な情報提供ができる体制を構築し、地域の安全・安心を支える役割を担っております。

平時の放送では、ニュースや天気予報、防災情報を基盤としつつ、地域のお祭りやイベント情報、地元で活動する方々をゲストに招いたトーク番組など、地域に根差した制作を行っています。また、となみ衛星通信テレビ(TST)との連携による生放送など、メディアの垣根を超えた多角的な情報発信にも力を入れております。

北日本新聞砺波支社に位置するスタジオは、天候や街の情景をリアルタイムに感じていただけるようガラス張りとなっており、パーソナリティやゲストを身近に感じていただける開かれた空間です。

当社は「住民の、住民による、住民のための」放送局として、市民パーソナリティと共に、地域社会に貢献する番組を放送していきます。

○会社基本情報

項目	内容
会社名	株式会社エフエムとなみ (English: FM TONAMI Inc.)
代表者	代表取締役社長 河合 常晴
所在地	〒939-1363 富山県砺波市太郎丸2丁目129番地 北日本新聞砺波支社内
連絡先	TEL: 0763-34-0769 FAX: 0763-34-0771
設立年月日	2000年(平成12年)12月20日

開局年月日	2001年(平成13年)4月25日
資本金	5,000万円

○放送事業概要

項目	内容
周波数・出力	76.9MHz / 20W
コールサイン	JOZZ5AH-FM
放送対象地域	砺波市全域、および南砺市・小矢部市・高岡市の一部
送信所	富山県砺波市太郎丸2丁目129番地

事例①

地域DXモデル提案

LINEチャット・ビデオ通話活用

従来の課題

- 会議は対面のみ
- 参加率が低い
- 情報共有が個人化
- 意思決定が遅い



LINE活用で
課題を解決

導入後の変化

- オンライン会議を実現
- 連絡・共有が効率化
- 参加率・判断力アップ!



3ステップで進めるDX

STEP 1

連絡グループ作成

予定・報告を共有



STEP 2

オンライン会議

ビデオ通話で協議



STEP 3

運営ルール整備

記録と情報を整理



適用できないケース

- 機密性の高い情報
- 大規模な外部発信
- 厳格な統制運営

事例③

ビニールハウス1

気温

11.3℃

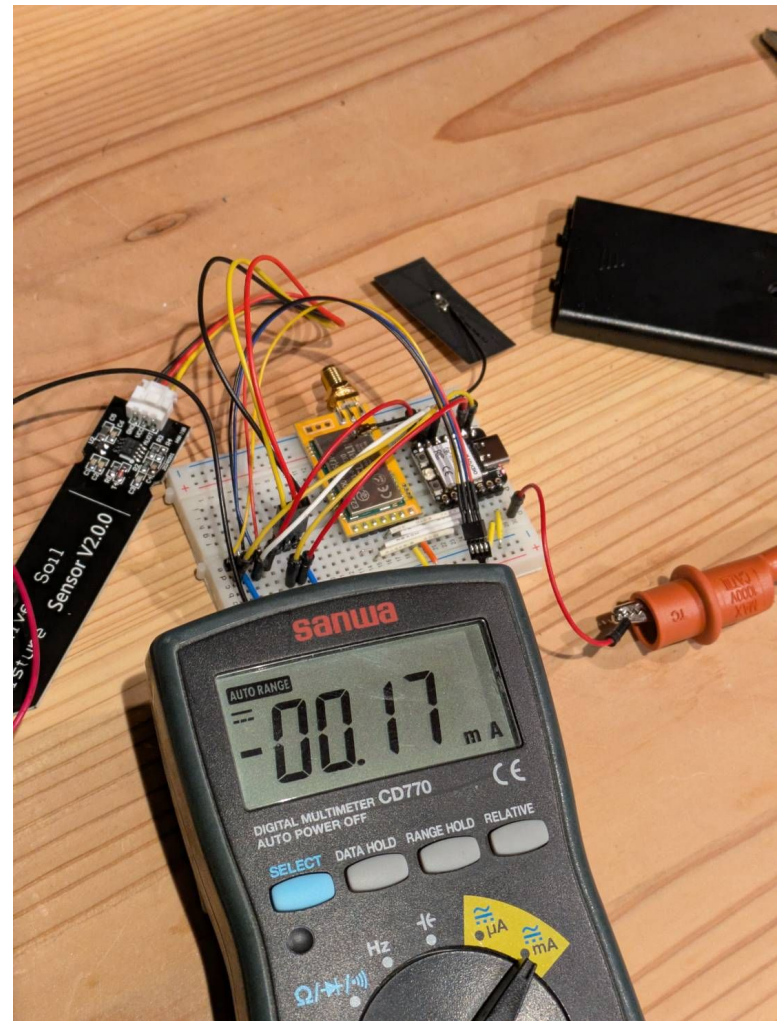
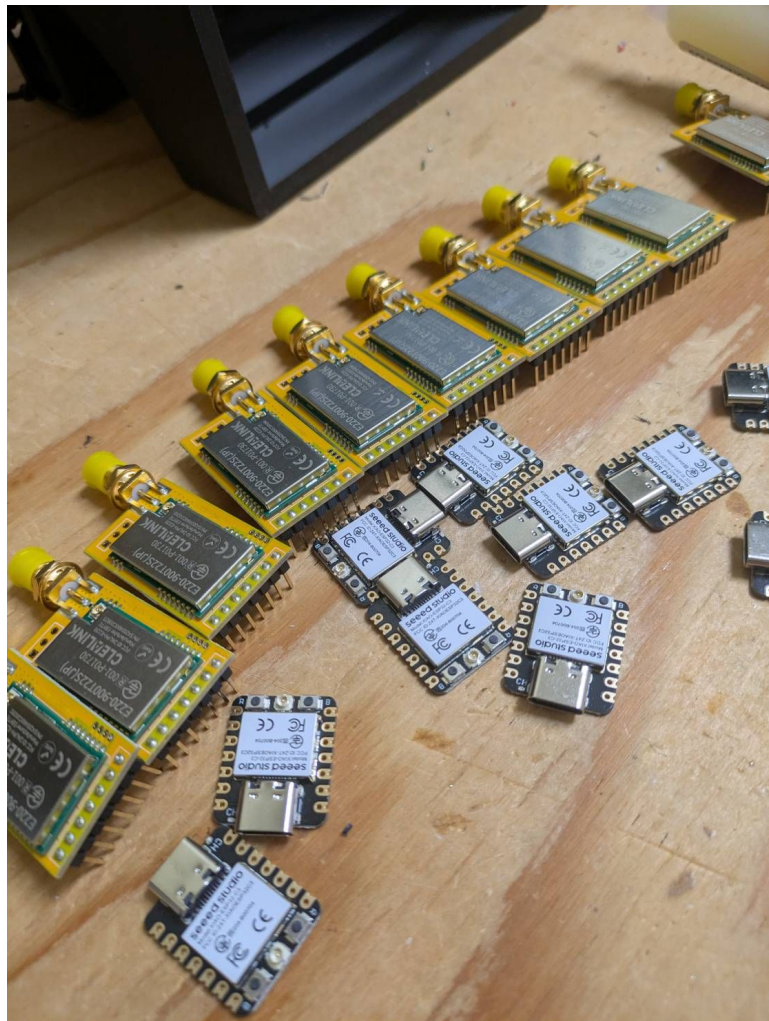
湿度

75%

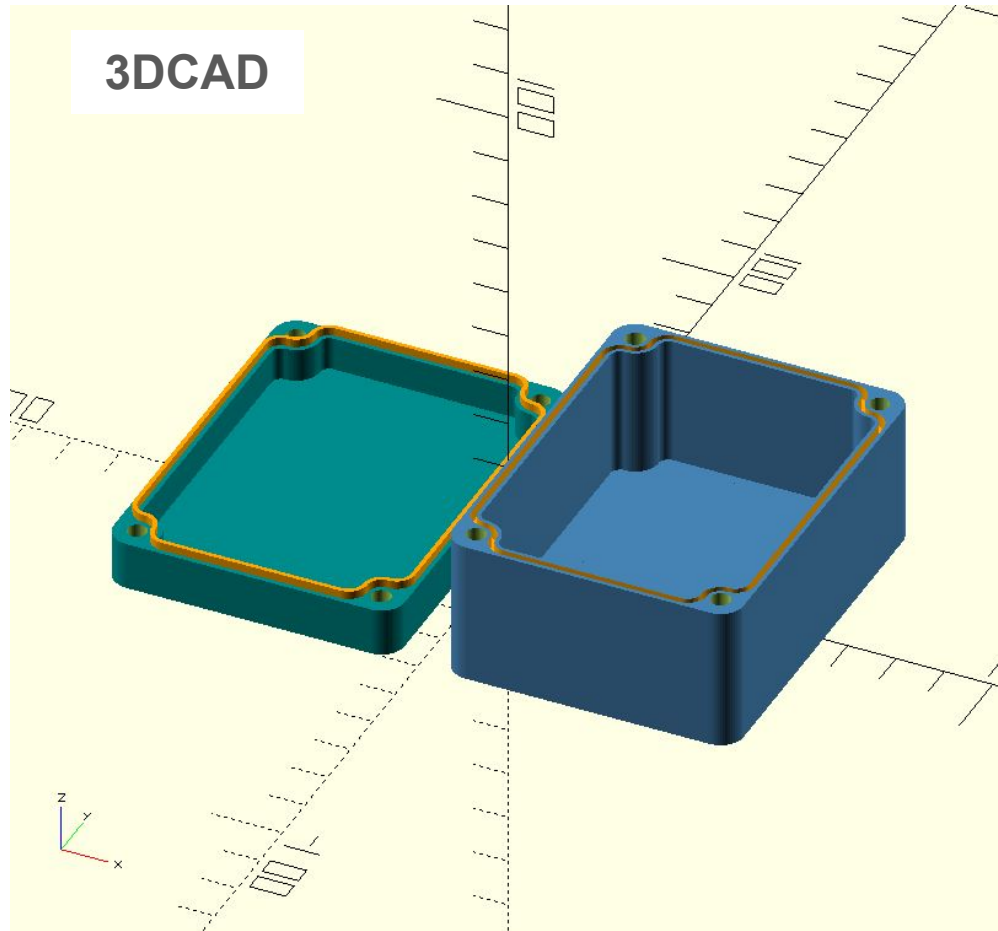
スマホ画面



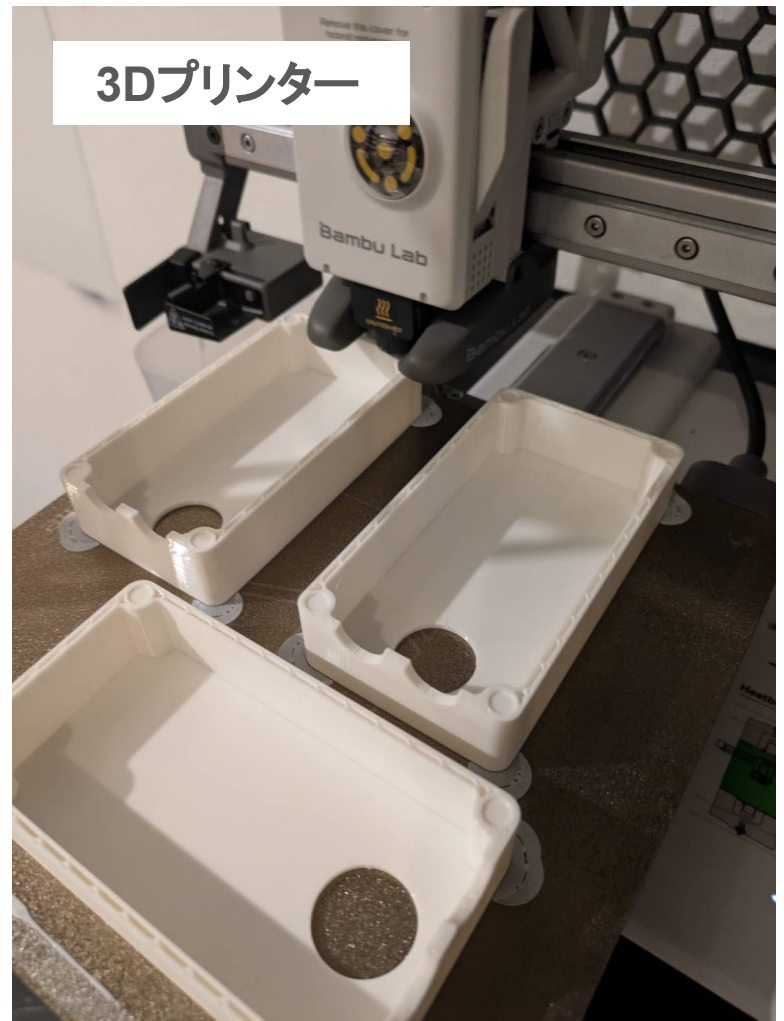




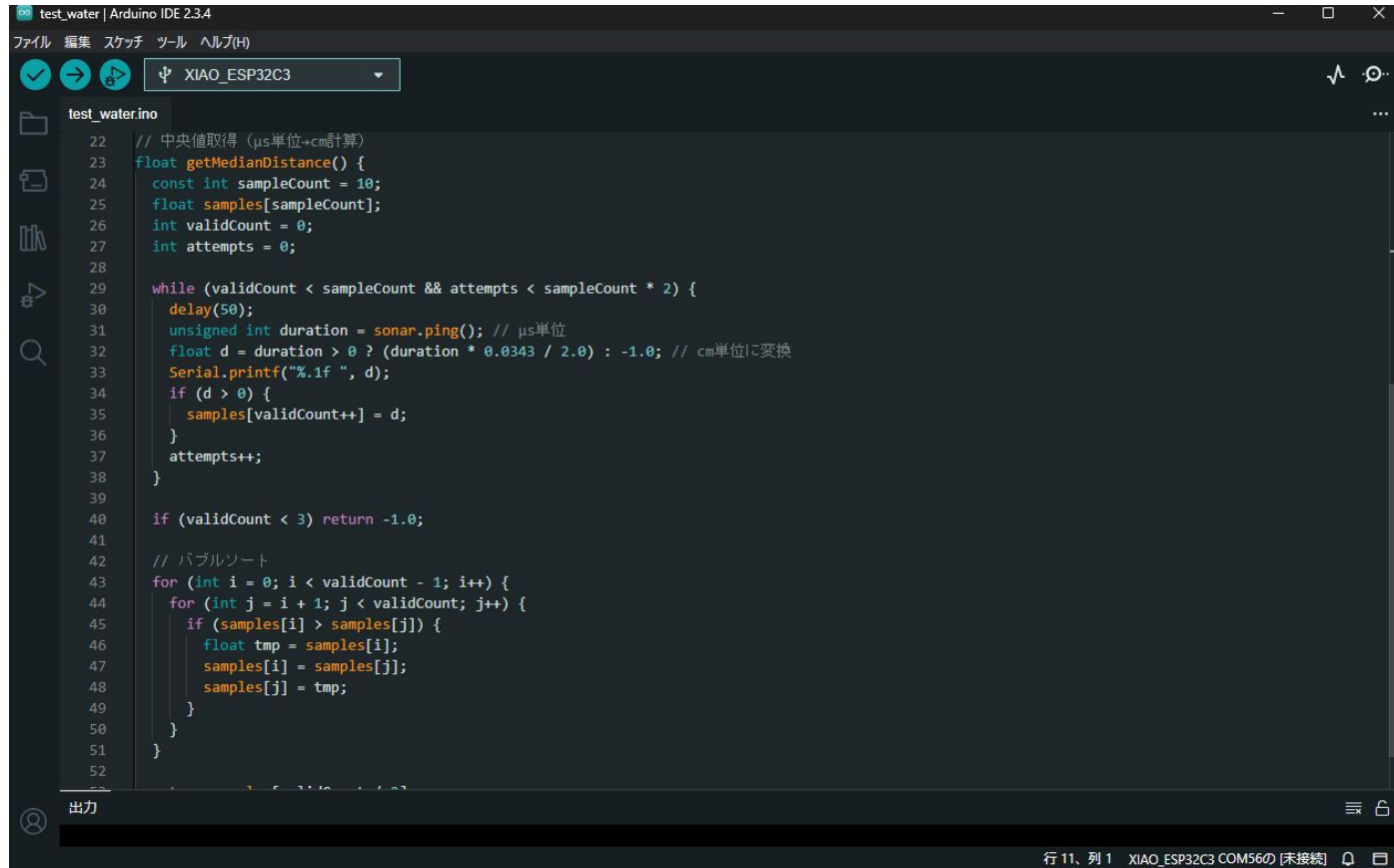
3DCAD



3Dプリンター



プログラム



```
test_water | Arduino IDE 2.3.4
ファイル 編集 スケッチ ツール ヘルプ(H)
XIAO_ESP32C3

test_water.ino
22 // 中央値取得 (μs単位→cm計算)
23 float getMedianDistance() {
24     const int sampleCount = 10;
25     float samples[sampleCount];
26     int validCount = 0;
27     int attempts = 0;
28
29     while (validCount < sampleCount && attempts < sampleCount * 2) {
30         delay(50);
31         unsigned int duration = sonar.ping(); // μs単位
32         float d = duration > 0 ? (duration * 0.0343 / 2.0) : -1.0; // cm単位に変換
33         Serial.printf("%.1f ", d);
34         if (d > 0) {
35             samples[validCount++] = d;
36         }
37         attempts++;
38     }
39
40     if (validCount < 3) return -1.0;
41
42     // バブルソート
43     for (int i = 0; i < validCount - 1; i++) {
44         for (int j = i + 1; j < validCount; j++) {
45             if (samples[i] > samples[j]) {
46                 float tmp = samples[i];
47                 samples[i] = samples[j];
48                 samples[j] = tmp;
49             }
50         }
51     }
52 }
```

出力

行 11、列 1 XIAO_ESP32C3 COM56の [未接続]